

移住や定住を支援する

市では、移住定住施策に積極的に取り組んでいる。担当する企画政策課の石垣伸博経営戦略監にその内容を聞く



石垣伸博経営戦略監

オール御前崎で若い世代が活躍できる環境を作っていきましょう

池新田高校では、約半数が進学、近隣の高校は7割以上が進学します。一方、子どもたちは進学先を卒業後、再び地元へ帰ってくるかというところではありません。やりたい仕事を求め転出した人を含め、「出て行ったほど帰ってこない」のが現状です。

生産年齢人口の減少は、地域産業の衰退や財政規模の縮小、地域コミュニティの機能低下につながる重要な問題です。本市では若い年齢層をメインに御前崎に残ってもらう、帰ってきてもらう、移り住んでももらう取り組みをしています。

高校生に対しては、市内の企業に参加してもらい、「企業セミナー」を池新田

高校と協力して実施。地元企業の魅力を生徒に知ってもらう機会を設けています。

地元を離れた人や移住を考えている人に対しては、首都圏で「移住相談会」を開いたり、若者が見る動画サイトへ「移住PR動画」をアップしたりして、少しでも迷っている人の背中を後押しできるような取り組みも展開しています。

その他にも、他市より手厚い支援制度もあります。

移住定住を支援する「移住・就業支援事業補助金」や「定住促進住宅取得補助金」、起業を支援する「商工業振興資金利子補給」などがそうです。子育て支援にも他市以上に力を入れています。

市では、今後も若い世代の人たちが住めるような取り組みを積極的に実施、PRしていきますが、市民の皆さんにもこうした制度を身内や知り合いに広めていただけたらと思います。

先日、金融関係者の人から、本市周辺は製造業の割合が高く、高校生の求人は多い反面、大学生の求人は少ない傾向にあると伺いました。さらに女性の一般事務職の求人も少なく、結果として、若い女性が都市部へ流れているとのことでした。企業の皆さまには、本市の現状をご理解いただき、若者の働く場の創出にご協力いただきたいと思います。

先日も、金融関係者の人から、本市周辺は製造業の割合が高く、高校生の求人は多い反面、大学生の求人は少ない傾向にあると伺いました。さらに女性の一般事務職の求人も少なく、結果として、若い女性が都市部へ流れているとのことでした。企業の皆さまには、本市の現状をご理解いただき、若者の働く場の創出にご協力いただきたいと思います。



▲企業セミナー
地元どんな企業があるのかを知ってもらうために開催



▲移住セミナー
地方のまちがそれぞれの魅力を首都圏の人に伝える場に参加



▲移住相談会
本市への移住に興味を持った人へ具体的な説明をする



▲PR冊子の製作